



## 東北ブロック協議会 平成17年度第1回理事会報告

県士会会長 伊藤 和夫

- 日時 平成17年4月16日 14時～16時50分
- 場所 仙台地域医療研修センター
- 参加者 伊藤、川口、中村、梅村、(安田、佐井川、小田桐)
- 議案
- 1) 報告事項
    - 第22回学会(秋田)報告並びに監査報告
    - 第23回学会(岩手)報告
    - 第24回学会(青森)報告
    - 学術局会議報告
  - 2) 議事
    - 1.平成16年度収支決算並びに会計監査報告、平成17年度予算
    - 2.法人化に向けて各県の対応
    - 3.介護予防事業について
    - 4.個人情報保護法について
    - 5.士会サービス事業
    - 6.県理学療法士会の事務局機能を強化する要望
    - 7.ブロック推薦の協会理事選への対応
    - 8.決算書類及び各種規定について
- 報告
- 1) 平成16年11月20、21日、秋田市文化会館、テーマ「医療における安全性」演題数47(口15、ポ32)参加者340名、決算251万円の報告。  
 監査は、協賛金、広告、抄録のあり方の再考などが指摘された。  
 2005年11月12日、13日 盛岡市民文化ホール、「理学療法と行動変容」400名規模、予算240万、演題45(口述15、ポスター-30)、シンポジスト4名。  
 テーマ「新たな介護保険制度下における理学療法の展開(仮)」  
 2006年11月11日、12日、八戸市公民館公民館ホール(492名)予定  
 機関紙東北理学療法学の発行時期を延長、査読後の修正回数の変更、寄贈先の再考、メディカルオンラインへの参画、執筆要項の修正について提案がされた。寄贈、参画は次回検討、他は承認された。
  - 2) 1.決算は承認、監査は繰越金の額、学会誌の印刷、その他運用の工夫が指摘された。予算は会員数147名増の2240名、予算規模は632万、事業と管理比率は83:17%を承認、他に赤字予算についての意見交換がなされた。  
 2.山形は中間法人の準備、宮城は書類提出、福島は未定、青森は検討中。  
 3.各県の対応について情報交換を行なった。  
 4.実習地、養成校での対応、意見交換を行なった(協会総会でも報告予定)。  
 5.岩手士会では中間法人を設立し本事業を取り組むことが報告された。  
 6.秋田県士会から代議員総会へも提案したことが報告された。  
 7.秋田士会の菅原巳代治氏をブロック推薦し総力をあげて支援する。  
 8.什器、学会収支決算、協議会収支決算を機関紙に掲載することとした。
  - 3) その他 福島県山口会長より政治連盟のパンフレットが配布された。

以上

# スペシャルオリンピックス長野ボランティア体験記<2>

青森県立あすなる学園 須藤 宗

## 【いよいよ開幕】

2日間の座学研修をようやく終え、26日からはいよいよスクリーニングのスタートです。会場となったのは、長野駅から善光寺参道に沿って10分程歩いた場所にある「もんぜんぷら座」という市民広場の地下1階で、全てのHAPセクションが一同に会していました。10時30分、「だるま」の目入れ式が盛大に行われ、本業務の開始が宣言されました。ですが、なかなかアスリートは現れず、黄色いビブスのプレス関係者が顔を覗かせるばかりです。私たちFFクルーも緊張した雰囲気に入れられ、最初のアスリートを迎えるまでは落ち着きなく歩き回り、あるいはテスト項目を確認したりと誰も彼もが5日間の中で最も落ち着かない時間帯でした。お昼を少し回った頃からようやくアスリートが会場入りし、地下1階がにわかに活気づいてきましたが、会場の入口に最も近いFFはもう大忙しです。2人組になってスクリーニングに当たりましたが、時には1人きりに対応しなければならぬときもあり、片言の英語と大振りなジェスチャーによるコミュニケーションでなんとかこなしていると、いつのまにか業務終了の14時を既に過ぎていました。それでも、まだ大勢のアスリートが待機しており、結局全ての業務が終了したのは15時近くになるかという時刻でした。

この日はHAPだけでなく、全ての競技が始まる日でもあり、私たちはスピードスケート会場でもあるエム・ウェーブで行われた開会式に出席しました。テレビ中継で御覧になった方もいらっしゃるかもしれませんが、やはり現場に居合わせている実感、雰囲気の臨場感が全然違うというのが率直な感想です。多くの拍手や声援を浴びて入場するアスリートたちの、誇らし気な顔や楽しそうに飛び跳ねる姿は、見ていてもとても気持ちのいいものでしたし、色々な立場のたくさんの人たちとこうした時間と空間を一緒に作り上げているとい

う心地のよい一体感がありました。

## 【ピンの交換】

2日目は最も長い一日で、12時から21時までのシフトです。午前中は特に予定もはいついかなかったもので、早めに会場入りして他のセクションを見学して回りました。特に足機能部門のファンフィートでは、ポダイアトリー（足病の療法士）が中心となって足部だけを専門に評価し、それに合わせてインソールを作成していく様子を説明していただけ、大変参考になりました。

さて、こうした世界規模のスポーツ大会では、どうやらピン（バッジ）を交換してコレクションすることが一般的のようです。競技会場やお土産屋で販売しているだけでなく、駅前や街角でも露天を出しており、多くの人立ち止まっていました。また、HAPの各セクションでもオリジナルのピンが置いてあり、スクリーニングをすませたアスリートにギフトとしてプレゼントされていました。私も仲間とともに、各セクションを回って収集していましたし、駅前では地元の人に声をかけられてピンの交換をしました。明らかに日本人なのに英語で話しかけられたことには驚きましたが・・・。

このようにして集まったピンを眺めていると、他にはない意匠を凝らしたものがいくつもあります。ヘルシー・プロモーション（栄養部門）のピンはリンゴをかたどっていましたが、オープニング・アイズ（視覚部門）は目を模した円形をしていました。是非、みなさんも機会があればピンの交換を試みてください。それだけで、自分の世界がずっと広がる体験ができると思います。

# - ご案内 -

## 平成17年度 青森県理学療法士会特別講習会のお知らせ

学術局長 村上 三四郎  
研修部 佐井川 匠秀

- 記 -

- テ ー マ : 「心疾患に対する理学療法の位置づけと実際」  
日 時 : 平成17年8月20日(土)～21日(日)  
会 場 : 青森県立保健大学  
講 師 : 松永 篤彦(北里大学医療衛生学部 リハビリテーション学科)  
参 加 費 : 3,000円(昼食代を別途徴収致(注文者のみ)します。500円程度)  
情報交換会費 : 3,000円程度(講師を交えて1日目終了後に予定しております。)  
定 員 : 30名(要事前登録、先着順)  
申込方法 : 下記の必要事項を明記の上、メールまたはFAXにてお申し込み下さい。  
氏名(ふりがな) 所属先 所属先電話・FAX 経験年数(年目)  
昼食代注文(8/20)の要不要 情報交換会参加(8/20)の出欠  
申 込 先 : (医)芙蓉会芙蓉会病院 理学療法室  
佐井川 匠秀  
TEL.017-738-2214 FAX.017-738-2249  
E-mail [fuyo-rigaku236@fuyoukai.or.jp](mailto:fuyo-rigaku236@fuyoukai.or.jp)  
(講習会に関するお問い合わせは上記連絡先で受付致します。)  
締 切 り : 平成17年7月22日(金)

## こども療育勉強会 研修会のご案内

- テ ー マ : 「脳性まひ児と両親のための機能的治療アプローチの実際」  
講師 : 今川 忠男 先生(旭川児童院 副院長 理学療法士)  
日 時 : 平成17年7月17日(土)～18日(日)  
7月17日 : 10:00～16:00(受付8:30～)  
7月18日 : 9:30～15:30  
会 場 : 青森県立あすなろ学園 通園棟理学療法室(予定)  
内 容 : 症例検討とそれに関連する講義  
脳性まひ児と両親のための機能的治療アプローチの実際や姿勢ケアの基本と実際などを予定しています。  
参加費 : 10,000円程度を予定  
昼食代 : ご希望の方に700円程度で御用意します  
参加定員 : 30名  
(定員になり次第申し込みを締め切らせていただきます)  
申込み締切り : 2005年6月17日(金)

申込み方法：下記の必要事項を記入の上、EメールまたはFAXにてお申込ください。

なお、同一施設から多数の参加希望がある場合には、施設内でとりまとめてお申し込みくださるようお願い致します。

- 1)氏名
- 2)所属
- 3)職種と経験年数
- 4)電話・FAX番号
- 5)Eメールアドレス（Eメールでの連絡を希望する場合）
- 6)昼食注文の有無（17日・18日）

申込先および問い合わせ先：青森県立あすなる学園 川原田 里美 宛

FAX：017-766-4396

E-mail：satomi\_kawaharada@ags.pref.aomori.jp

TEL：017-781 0174（講習会に関する問い合わせの場合のみ）

## 第20回リハ工学カンファレンス開催のご案内

リハ工学カンファレンスでは、障害のある方のリハビリテーションを支援する機器や技術について、リハビリテーションに関係するさまざまな分野の参加者が互いに理解できる言葉で納得できるまで討論することを目的としています。

関係分野の方だけでなく、「リハビリテーションのための工学技術の応用」に興味をお持ちの方は、ぜひご参加下さい。

メインテーマ：佐賀で SAGA そう 人（ひと）・道具（もの）・技術（わざ）

サブテーマ：～みんなが輝く、みんなの連携～

開催日：2005年9月1日(木)～9月3日(土)

なお、カンファレンスの前後に日本リハビリテーション工学協会各 SIG 主催の講習会が予定されています。

会場：佐賀市文化会館

佐賀市日の出1-21-10 TEL0952-32-3000

主催：日本リハビリテーション工学協会

第20回リハ工学カンファレンス事務局

〒849-8501 佐賀市鍋島5丁目1-1

佐賀大学 医学部付属地域医療科学教育研究センター

福祉健康科学部門 松尾清美

TEL/FAX：0952-34-2187

<http://net.pd.saga-u.ac.jp/riha/>

E-mail:rehaconf@post.saga-med.ac.jp

## ～ 理学療法士求人情報～

### 医療法人同仁会 浪打病院

募集部門 : 技術部 リハビリテーション課  
募集職種 : 理学療法士  
募集人数 : 若干名  
業務の内容 : 医療法人同仁会におけるリハビリテーション業務全般  
及び付帯業務  
待遇 : 経験等により優遇 委細面談の上決定  
当院ご紹介 : 昭和 26 年医療法人同仁会 浪打病院として開院、平成 16  
年 4 月 21 日に新築しております。入院 69 床、うち一般  
34 床、療養 35 床理学療法 を算定できる施設と設備と  
なっており、地域に密着した多様な外来リハビリテーション  
及び入院リハビリテーションを展開予定です。  
また、今後は訪問系の施設展開と充実を予定しております。  
お問合せ先 : 〒 030-0902 青森県青森市合浦 2 丁目 11 番 24 号  
TEL ; 017-741-4341 FAX ; 017-743-3094  
URL ; <http://namiuchi-hp.com> meilto [info@namiuchi-hp.com](mailto:info@namiuchi-hp.com)  
担当 ; 事務局 菊田 総務 三浦

### 医療法人芙蓉会 本部

職 種 : 理学療法士 作業療法士  
勤務形態 : 常勤 非常勤  
勤務時間 : 月～金 8:30～17:00  
土(隔週) 8:30～12:30  
その他 : 施設見学を随時受付しております。  
お気軽にお電話してください。  
問合せ先 : 青森市雲谷字山吹 93 - 1  
TEL : 017-764-1815  
医療法人 芙蓉会 本部 事務局長 穴水明雄

### 大里脳神経リハビリテーションクリニック

募集職種 : 常勤理学療法士 1名(患者増加につき急募)  
待遇 : 当院規定により優遇(詳細は面談にて)  
学会、研究会への参加を奨励します。  
当院紹介 : 平成16年12月1日に開院した脳神経疾患診療と外来リハビリ  
テーションを重視する無床診療所です。訓練室は理学療法、  
作業療法、言語聴覚療法 に対応した面積と設備となっ  
ています。意欲のある方の応募を期待しています。  
応募方法 : 〒 031-0816 青森県八戸市新井田西 3 丁目 15-15  
TEL ; 0178-30-1112 FAX ; 0178-30-1600  
E-mail ; [runners-high1930@h.vodafone.ne.jp](mailto:runners-high1930@h.vodafone.ne.jp)  
担当 ; 院長 大里 孝夫

## 学校法人臨研学舎 東北メディカル学院

1. 募集職種：理学療法学科 専任教員
2. 募集人員：若干名
3. 応募資格：(1) 理学療法士免許取得後実務経験5年以上  
(2) 学生の教育・指導に情熱のある方
4. 待遇等：給与/当校規定により優遇します  
大学院進学援助制度あり
5. 応募方法：まずは下記まで電話またはメールで連絡ください  
〒039-1522 青森県三戸郡五戸町字苗代沢 3-638  
TEL ; 0178-61-0606 FAX ; 0178-61-0034  
URL ; <http://www.rinken.ac.jp> E-mail ; [info@rinken.ac.jp](mailto:info@rinken.ac.jp)  
担当 ; 加 福

# 【学術局通信】

## 平成17年度青森県理学療法士会研究助成公募のお知らせ

学術局々長 村上 三四郎

青森県理学療法士会では、士会員の積極的な研究活動を推進および支援することを目的に、平成15年度から研究助成制度をスタートさせました。

これから研究を新たに始めようと考えている方、これまでの研究を継続しようと計画している方は振るってご応募ください。多くの士会員、中でも若手のエントリーをお待ちしております。

### 【研究助成のQ & A】

Q1. どんな研究テーマなら応募できるの？

理学療法の発展に寄与・貢献するものであれば、テーマ（実験、調査、社会活動の効果などに関する研究）は特に問いません。

助成選考対象となるテーマについては、遠慮なくお問い合わせ下さい。

Q2. 応募資格は？

応募者または研究代表者は青森県理学療法士会会員でなければなりません。

Q3. 助成額はいくら？

助成総額は10万円です。助成額は選考委員の審査をもとに決定されます。

Q4. 助成件数は？

応募状況にもよりますが、原則として2件までとします。

Q5. 助成金の使い道は？

研究に必要と認められる経費、例えば消耗品費、機材購入費、打ち合わせ経費、研究協力者へのお礼（被験者等への謝金）等であればOKです。ただし、学会や研修会等への旅費や参加費として使うことはできません。また、機材購入のみを意図した使い方はできません。

Q6. 選考委員は誰？

選考委員は、研究助成選考委員5名（学術局長を含む）内規により学術局長が選任する。

Q7. どうやって選考するの？

選考委員5名がそれぞれ提出された書類内容を審査し、最終的に合議により採択するかどうかを決定します。選考結果は学術局から各応募者に通知され、また、青森県理学療法士会ニュースにも掲載されます。

Q7. 研究助成を受けた場合に遵守しなければならないことは？

以下の～を遵守しなければなりません。

**第30回青森県理学療法士学会（平成18年3月）での研究成果発表**

「理学療法研究」23号（18年3月発行予定）または24号（19年3月発行予定）への論文掲載

収支報告書の提出（学術局長宛、様式3-1、2を使用のこと）

Q8. 今後のスケジュールは？

応募期間：平成17年4月1日～6月20日

選考期間：平成17年6月21日～6月30日

研究期間：平成17年7月1日～平成18年1月31日

収支報告書提出：平成18年2月6日まで

研究発表：平成18年3月開催予定の青森県理学療法士学会

論文投稿：「理学療法研究」23号または24号の投稿規定に従う。

### 【応募要領】

1) 提出書類

ニュース巻末の様式をコピーするか、県士会ホームページから様式をダウンロードして、提出書類～を作成して下さい。

または、下記問い合わせ先に応募書類を請求してください。

研究計画書1部（様式1）

予算書1部（様式2）

2) 提出期限

平成17年6月20日（月）必着

3) 提出および問い合わせ先

学術局長（村上）まで、郵送またはE-mailに添付して提出してください。

〒033-0001 三沢市中央町4-1-10

三沢市立三沢病院リハビリテーション科内

青森県理学療法士会学術局々長

村上 三四郎 宛

TEL：0176-53-2161 FAX：0176-52-6023

E-mail：misawahpriha@yahoo.co.jp

# 理学療法研究第23号（2006年3月発行予定）の投稿募集のご案内

学術局学術誌編集部 土橋 真由美

理学療法研究第23号（2006年3月発行予定）の原稿を募集致しております。投稿を希望される方は、理学療法研究第22号の投稿規定および執筆要綱 P65～67 をご覧頂き、締め切り日までに原稿を下記投稿先に郵送にてお送り下さい。なお、投稿原稿の保存メディアについては、校閲後にあらためて提出（11月上旬予定）して頂きますので、その旨よろしく願いたします。

**投稿締切日：2005年9月30日（金）必着**

投稿先・問い合わせ先  
〒036-8564 弘前市本町66-1  
弘前大学医学部保健学科理学療法学専攻内  
青森県理学療法士会学術局 学術誌編集部 土橋 真由美 宛  
TEL & FAX : 0172-39-5981  
E-mail : dobashi@cc.hirosaki-u.ac.jp

## 【財務部通信】

### 《16年度会費未納者へ》

265号を参照し、振り込んで下さい。

### 《17年度会費納入について》

会費自動引き落とし者へ

平成17年度の自動引き落としが **5月27日(金)**に行われます。通帳残高確認を各自でお願いします。

会費自動引き落とし以外者へ

会費納入方法は下記の通りです。

**士会費 12,000 円の振込先** 振込み手数料 210 円

みちのく銀行 黒石支店 店番 024 口座番号 0117013

名義名 青森県理学療法士会 代表者 佐藤 洋

**協会費 11,000 円の振込先** 振込み手数料 120 円

郵便振替で 口座番号 00130-3-78642

加入者名 社団法人 日本理学療法士協会

通信欄に

記入例 [平成17年度会費 1名分 佐藤洋 8692] 協会会員番号

と記入して下さい。払込人住所氏名は、施設名の住所氏名で結構です。

尚、領収証が必要な方は、下記へ御連絡下さい（昨年、連絡を下さった施設には入金を確認できれば送付します）。**また、どうしても6月15日まで納入できない人は、自動引き落としにして下さい（振込手数料無料、公共料金と同じく忘れなくて済む）。連絡を下されば引き落としの申込書を送らせて頂きます。どうぞ御協力お願いします。**

不明な点は 国立青森病院 リハビリテーション科

佐藤 洋

TEL 0172-62-4055(271)

## 【ニュース編集部通信】

次回の原稿締切は、平成17年5月24日(火曜日)です。  
原稿を依頼された方、もしくは掲載記事をお持ちの方は、次頁の各支部担当に  
フロッピーディスク、FAX、E-mailのいずれかにて、送付して下さい。

青森県士会ホームページアドレス

<http://www.aa.alpha-net.ne.jp/ptaomori/>

### § ニュース編集部支部担当者 §

東青・むつ下北：工藤 寛教（あおもり協立病院）

〒030-0847 青森市東大野2丁目1番地10号 TEL 017-762-5500 FAX017-729-3260

E-mail: celeste\_urg1@mail.goo.ne.jp

(電話・FAXは病院、メールアドレスは工藤先生個人のもので、ご注意ください。)

三八・上十三：川口 恵理（シルバー病院）

〒039-1161 八戸市河原木字八太郎山10-444 TEL 0178-28-4000 FAX 0178-20-4962

E-mail: ptsilver4000@yahoo.co.jp

(リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要)

中弘南黒・西北五：藤田 俊文（黎明郷リハビリテーション病院）

〒038-0194 南津軽郡碓ヶ関村碓ヶ関字湯向川添30 TEL 0172-45-2231 FAX 0172-45-2373

E-mail: reimeipt@h7.dion.ne.jp

(リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要)

事務局ニュース編集部長：梅村 孝博（東北メディカル学院）

〒039-1522 五戸町字苗代沢3-6 TEL 0178-61-0606 FAX 0178-61-0034

E-mail: pt.umemura@rinken.ac.jp

編集委員：伴 久美子（黒石病院）

工藤 寛教（あおもり協立病院）

藤田 俊文（黎明郷リハビリテーション病院）

川口 恵理（シルバー病院）

豊嶋 大輔（八戸城北病院）

加藤 義人（なかざわ整形スポーツクリニック）

久保 稔（八戸整形外科クリニック）

外交局広報部（HP担当）：安田 友久（青森労災病院）

### 編集後記

新人の皆さん、もう仕事には慣れましたか？僕も理学療法士として就職してから早いもので5年目となりますが、新人の頃は、つまり今頃は患者さんもあまりもってないせに、慣れない環境にただいるだけでぐったり疲れ、家に帰ると寝るだけの毎日でした。皆さんもきっとそんな毎日を経験していることと思います。でもきっとすぐに慣れますよ。がんばりましょう！（文責：豊嶋）

## 奥 付

編集；青森県理学療法士会

発行；PT 事務局・ときわ会病院リハビリテーション科内

〒038-1216 南津軽郡常盤村榊字亀田2-1

PHONE・FAX 0172-65-3698

E-mail；ptaomori@m16.alpha-net.ne.jp